



仙台市立錦ヶ丘中学校



校長
伊藤 浩太郎先生



PTA会長
千葉 純嗣



錦ヶ丘中学校は、平成31年4月に仙台市66番目の中学校として蕃山のふもと・青葉区錦ヶ丘に開校しました。同月にPTAも設立され、ただいま「3年生」です。

シンボル紹介

校章の由来について



【制定】平成31年3月 錦ヶ丘中学校 校章選定委員会（原案公募による選考）

【原案者】母体校2年生（当時）

【意味】美しく立派な絹織物の「錦」を、複雑な線とシンプルな色使いで表現。古き良き伝統を大切にしながら新しい時代を切り拓いていく生徒が、この丘で育ってほしいという願いが込められている。

外側の紺の三つの頂きは、それぞれ「豊かな心」、「健やかな体」、「確かな学力」が着実に伸びていく様を表し、その間に渡された橋が「つながり」や「絆」を象徴し、内側の黄色は生徒の「希望」や「活気」を表現している。

令和3年度 PTA活動紹介【地域連携】

みんなの

学び場

まなVIVA!

コロナ禍で、当初描いていた「中学生が地域に出ていく」地域連携は実現できませんが、**学校支援地域本部「めですこSCHOOL」**のご協力を仰ぎ、**仙台版コミュニティスクール**も視野に入れた「パイロット版」として、3年生の部活に目途がつき進路を真剣に考えるタイミングとなる夏休みを使い、地域に住む大学生ボランティアによる寺子屋方式の学習スペースを企画運営しました。

【大学生ボランティアの意見】

- ・教員を目指している学生にとって良い機会。
- ・先生や親とは違った**距離感**で関われる良い活動だと思う。
- ・自分が中学生の時にもこういう学習支援があってほしかったと感じた。
- ・中学生にとっては**将来像をイメージ**することにつながる良い機会だと思う。

学校支援
地域本部

【コーディネート】

連携・協働

錦ヶ丘中
PTA

【企画・運営】

【参加中学生の意見】

- ・人によって「やる気」が沸くタイミングが違う中で、**やる気になる方法**を細かく教えてもらった。
- ・先輩がかつて困ったことを教えてもらったことで、**近い未来**にどうすれば良いのかが分かって良かった。
- ・高校、大学での勉強の内容、面白い話を聞いて良かった。

【まなVIVA! の様子】

大学生ボラとの交流で、中学生には学習面の気づきのほか、「ちょっと未来の自分」を考えるきっかけになりました。

